

## 平成 29 年度社会福祉法人さくら園事業報告

### 1 総論

29 年度の事業計画は、改正社会福祉法に基づく新たな組織体制の下、障がい者優先を掲げて、当事者の要望、要請に即した事業を展開することとした。

具体的な施策として、自立に直結する一般就労の促進と地域生活の環境整備を設定し業務を展開した。一般就労は 3 工房で 9 人を達成、地域生活支援では直江津地区東部に 7ヶ所目のグループホームを新築整備した。

障害者就業・生活支援センターさくらは、主任職場定着支援ワーカーと精神障がい者支援ワーカーの増配により、就労 119 人、平成 19 年度開設からの累計は 739 人の実績を確保した。

組織の活性化を目的に新設した次長制は、権限と責任及び指揮命令系統の明確化のほか、次長昇任職員への施設管理者としての意識付けにつながった。

安全・安心の施設環境の観点から、トイレの増設や冷暖房設備の更新など、必要な改善に努めた。公用車の整備については、授産事業や送迎用として常に安全性が求められるため、必要な更新を行ったほか、危険運転対策かつ虐待防止につながるドライブレコーダーを、全公用車に装着した。

行っている支援の適否について、全体に係ることは所長会議及び次長会で協議、個別の案件については、参与が施設を巡回のうえ、問題点を指摘し、改善方法等を指導、助言した。また、上越市が主催した、長崎市の障がい者太鼓集団「瑞宝太鼓」公演に、さくら園全施設が招待された。この公演は、地元選出の県議会議員から仲介していただいた催し物で、利用者にとってリージョンプラザコンサートホールでの鑑賞は、初めての大きな経験であり心に響いたのではないかと思う。

職員の能力向上の観点から、業務執行の基本の一つである文書実務の集合研修を実施した。

### 2 実施事業の概要

#### (1) 工房

南さくら工房の放課後等デイサービスを含めて、5 工房全体 232 人の利用者を支援した。前年度に比べて 9 人増加し、年間の利用率は 97.3%である。各工房は、法人の基本理念及び運営方針を基に、各々支援目標を設定した。

さくら工房は、温室を利用した農福事業への取組みを目標とし、市内 3つの農業法人から野菜苗の栽培を受注した。播種、運搬など利用者ができる作業の範囲を拡げ、委託先からは良い評価をいただいた。外食訓練や希望別外出では、金銭支払い、挨拶、靴揃え及び団体行動、マナーを課題に設定して修得に努めた。

つばき工房は 1 人以上の就職実現と利用者の障がい特性把握を目標にした。就職は 4 人、特性把握は精神、発達、高次脳障がいの研修を実施し職員の技能を向上させた。

北さくら工房は、地域貢献活動として海水浴後の直江津海岸を掃除したほか、利用者の障がい特性による行動を正確に理解するため、支援会議で重点的に検討、全職員で対応方法を共有した。その結果、訓練より介護が適切とされる利用者 2 人は、30 年度から、生活介護事業を実施している居多さくら工房に移った。

南さくら工房は、重症心身障がい、行動障がいや発達障がい支援の向上を目標にしてミュージックケアに取り組んだ。招聘講師の話や学習済の職員による実地指導に基づいて支援した結果、重症心身障がい及び行動障がい利用者の全員ではないが、多くに高い効果が表れた。

居多さくら工房は感染症予防を目標に設定した。国や医療機関の情報を基に、利用者及び保護者の協力を得ながら、手洗い、うがい、消毒を徹底した。設備の改善では、高度清浄加湿器を2台設置したことなどから、工房内での感染症発生はなかった。

\* 各工房の29年度末実施事業と利用数、年間利用率及び職員数は次のとおり。

工 房 職員数	実施事業	定 員	利用契約	利用率
さくら工房 常勤 6 パート 7	就労移行	8 人	8 人	89.8%
	就労継続 B	22	25	95.5
	生活訓練	8	8	79.7
	計	38	41	91.0
つばき工房 常勤 4 パート 6	就労移行	5 人	3 人	91.3%
	就労継続 B	25	32	94.0
	生活訓練	5	6	86.1
	計	35	41	92.5
北さくら工房 常勤 9 パート 9	就労移行	8 人	4 人	55.0%
	就労継続 B	23	32	111.9
	生活訓練	9	10	84.0
	計	40	46	94.2
南さくら工房 常勤 17 パート 13	生活介護	35 人	51 人	106.9%
	放課後等デイ	5	15	89.1
	計	40	66	104.6
居多さくら工房 常勤 9 パート 5	就労継続 B	5 人	4 人	81.0%
	生活介護	19	34	113.0
	計	24	38	107.0
合 計		177 人	232 人	* 97.3%
常勤 45	パート 40			

(\*5 工房年間延利用者数 46,145 人 ÷ 268 日 ÷ 総定員 177 人)

## (2) グループホーム及びショートステイ

平成 29 年 11 月開設のさくらホーム直を加えて、7 グループホームで 48 人を支援した。

このうち就労は 10 人、工房利用は 36 人、在宅は 2 人である。また入居者の最年少は 19 歳、最年長は 72 歳で平均年齢は 50.5 歳である。今後、高齢入居者への介護保険適用等の課題が残る。

さくらホーム陽とさくらホーム直のショートステイは、さくら園利用者以外の利用を含めて延 330 人、延 543 日（1 泊を 2 日にカウントするため、暦の日数を上回る。）の稼働であった。さくらホーム担当の職員は、常勤 4 人とパート 15 人の他に宿日直ボランティア 19 人。

* グループホーム	定員	入居数
さくらホームさくらの家	11 人	11 人
さくらホームつばきの家	10	10
さくらホーム五智	6	6
さくらホーム寺町	5	5
さくらホーム朋	6	6
さくらホーム陽	5	5
さくらホーム直	5	5
計	48	48
* さくらホーム併設ショートステイ		2 室

### (3) 障がい者支援室

#### ア 障害者就業・生活支援センターさくら

主任職場定着支援ワーカー及び精神障がい者支援ワーカーを新設し、所長以下 8 人態勢で雇用企業の開拓をはじめ、就職者の職場定着、就業のための訓練や日常生活について総合的に相談を受け支援した。

\* 業務実績（ ）は 30.3.31 現在累計

- ・相談件数 14,408 件 (70,769 件)
- ・登録者数 129 人 (1,283 人)
- ・一般就労者数 119 人 (増減後 577 人)
- ・事業所相談・協議件数 2,562 件 (18,085 件)
- ・職場適応援助件数 44 件

\* 障害者雇用率（常用労働者 50 人以上の事業所に 2% の雇用義務）

29.6.1 現在	上越管内	2.03%	新潟県内	1.96%	全国	1.97%
28.6.1 現在	上越管内	1.94%	新潟県内	1.93%	全国	1.92%

#### イ 相談センターさくら

市内に基幹相談センターのほか、15 か所の相談機関がある。相談センターさくらは、相談専門機関として、市内の訓練施設利用者及び新規利用者の各種相談に応じ、受けるサービスについての相談業務を行った。所長 1 人、相談員 1 人。

\* 業務実績（ ）は 28 年度

○ サービス利用計画案作成

- ・障がい者 197 件 (172 件)
- ・障がい児 32 件 (33 件)

- ・相談 1,692 件 (1,399 件)
- モニタリング
  - ・障がい者 153 件 (161 件)
  - ・障がい児 58 件 (66 件)

#### (4) 就労支援

就労支援担当職員の努力により、29 年度に就職した利用者は、さくら工房 2 人（製麺所ほか）、つばき工房 4 人（食堂ほか）及び北さくら工房 3 人（保育園ほか）でさくら園全体で 9 人であり、昭和 63 年度以降の累計は 72 人になった。

また、職場実習は実務訓練として重要な要素であるため、就労を前提としたトライアル雇用や工房それぞれのツールにより、例年どおり、スーパーマーケット等のバックヤードや食品販売業務、介護施設等の清掃業務及び農業生産法人の農作業に従事して訓練に努めた。

#### (5) 放課後等デイ

発達段階から個々の課題に見合った生活支援及び療育支援を行った。療育支援では集団遊びやミュージックケアを取り入れた。

放課後等デイは、特別支援学校との緊密な連携が前提だが、医療介護が必要な重度障がい児に対する支援態勢が整わない場合があるため、行政を交えて早急に対処を協議する。

#### (6) 虐待防止

職員ひとり一人が、福祉業務の原点に立ち障がい者支援を認識するため、各種専門研修を受講した。さくら園独自の集合研修は実施しなかったが、29 年度は前年に引き続き事例はなかった。

#### (7) 施設整備及び安全安心の施設運営

法人として 7ヶ所目のグループホーム「さくらホーム直」を塩屋新田地内に新築整備した。木造平屋建 153.63 m<sup>2</sup>のほかスプリンクラーポンプ棟 42 m<sup>2</sup>、事業費 42,927 千円で、国県、上越市からの補助金は合わせて 32,296 千円、自己負担は 10,631 千円である。

施設運営では、各施設はいずれも必要な対処を実施し、作業環境、職場環境の適正化維持、及び安全確保に努めた。主なものは、つばき工房男女トイレ増設 1,890 千円、南さくら工房冷暖房設備更新 3,800 千円、つばきの家浴室・居室エアコン修繕 319 千円、つばき工房搬送用車両購入 3,688 千円（うち真柄福祉財団助成 1,000 千円）、南さくら工房車両購入 4,581 千円（うち馬主協会助成 1,320 千円、リフト付車椅子 4 台）、全公用車 46 台にドライブレコーダー一着装 752 千円。

#### (8) 送迎

これまでのリフト付マイクロバス 1 台、マイクロバス 1 台、乗車定員 15 人 1 台及び乗車定員 8 人車 2 台に、定員 8 人の 1 台を加えて、方面ごとに 93 人を送迎した。この他、つばき工房、南さくら工房及び居多さくら工房では、重度障がい利用者を個別送迎した。

### (9) 職員研修

文書実務能力を向上させるため、上越市総務管理課文書法務係長を講師にお願いし、採用後5年以内の常勤職員を対象に専門研修を実施した。

これまで職員が業務をとおして指導してきたが、不十分で不適切な点があった。専門研修を通じ、文書の意味、起案の仕方、構成、決裁の取り方等、基礎的かつ的確な技術を修得した。

その他、強度行動障がいに関する研修など新潟県社会福祉協議会や各種団体主催の各種専門研修を受講させ、パート職員を含めて施設職員としての資質を向上させた。

### (10) 苦情解決

施設ごとに苦情解決責任者、受付者及び第三者委員の名簿を掲示し、利用者及び保護者等に周知している。29年度はつばき工房に2件苦情があった。1件は利用者及び保護者から、職員間で不整合かつ配慮を欠いた言動について指摘され改善を求められたものだが、組織として猛省し今後真摯に対処していく旨をお答えした。2件目は、利用者から担当職員変更に対する抗議であったが、変更の理由は職員の業務処理に関したことで、運営上止むを得なかったことを了解してほしい旨説明した。

そのほか、さくら園全体では、意見や要望を寄せられたものの、苦情の訴えはなかった。

### (11) 福祉避難所

福祉避難所は、上越市が災害時における高齢者や障がい者の避難先として、一般市民とは別の施設を用意したものであるが、101施設が受入協定を締結している。

さくら園は、さくら工房・さくらの家・つばきの家で10人、北さくら工房2人、南さくら工房12人、居多さくら工房5人、さくらホーム朋・さくらホーム陽で4人、合わせて33人の枠を提供している。

29年度は、7月の豪雨と10月の台風による豪雨の際、南さくら工房と居多さくら工房が開設し職員が待機するなど、受入れ態勢をとったが、実際の避難者はなかった。今回、開設の対象にならなかった、さくら工房、さくらの家、つばきの家及び北さくら工房は、浸水する地域にあるため水害時の避難所として不適當である。水害時とその他災害時の区別がその都度可能なかどうかという問題もあるので、全体の見直しを市に求めていく。

## 3 授産事業

### (1) 授産事業収入

贈答品包装、買物カゴ洗浄、市有地草刈、公共施設・アパート等の廊下掃除、空き缶分別、上越市ごみ袋梱包などの受託作業と、レンタルおしぼり、小型電子部品解体、名刺・はがき印刷、鉢花・花苗、タオル・トレーナー等ありがとうブランド、ケーキ・クッキー等自主製品の製造販売に努めた。

南さくら工房が金属類の価格約1.5倍上昇により微増、居多さくら工房がアルミ缶回収回数増と価格上昇で48%増額したが、5工房全体では前年度39,093千円に比べて0.6%、241千円減の38,852千円に止まった。

減額の理由として、受託作業の発注元の廃業や受注量減少のほか、さくら工房の花弁売上減など、各工房の自主製品の売上減少が影響した。

減少から増加に転換するためには、職員全体の意欲的な営業や消費者志向の商品開拓が喫緊の課題である。

## (2) 支払工賃

工賃は授産収入から水道光熱費や仕入費用等諸経費を差し引いた残額を仕事量に応じて配分しているが、5工房合わせて25,021千円で前年度(25,059千円)とほぼ同額だった。

5工房全体の1人1か月平均工賃12,265円(前年度12,851円)は、前年度に比べてマイナス4.5%、586円の減額となった。原資に大きな変化がないところ、平均月額が586円下がったのは、対象人数が28年度の163人に対して29年度は170人に増加したためである。

各工房の平均工賃は、さくら工房18,786円(前年度19,732円)、つばき工房15,724円(前年度16,295円)、北さくら工房12,225円(前年度14,298円)、南さくら工房6,719円(前年度6,790円)、居多さくら工房8,363円(前年度5,455円)だった。

障がい者が自立して生活していくための、いわゆる就労による収入は1か月30,000円必要だといわれている。現状では極めて達成が難しい目標だが、訓練施設における指標として認識していく。